

## 2022年夏季インターンの感想

### 1 所属：早稲田大学政治経済学部4年生

UTEconのインターンに応募したのは、大学でこれまでに学んできた経済学の知識を、実際のコンサルティング業務にどのように活かせるのかを知りたかったからです。インターンでは、メンターの社員の方の丁寧なご指導のもと、複数のプロジェクトに関わらせていただき、社員、アドバイザー、リサーチ・アシスタントの方々とともに分析業務を担当し、他では味わえない刺激的な夏休みを過ごせました。業務を行うなかで、経済学の知識はもちろんのこと、プログラミングスキルや情報技術など、自分自身に不足しているスキルにも気づくことができました。基本的にはリモートワークでしたが、数回オフィスに伺い、UTEconの職場の雰囲気を知る機会もいただけたうえ、インターン生歓迎パーティーまで開催していただき、社員や他のインターン生の皆様と親睦を深めることができ、すべてがとても貴重な経験になりました。今回のインターンの経験を活かして、今後も学び続けたいと思います。本当にありがとうございました。

### 2 所属：東京大学経済学研究科修士1年

アカデミックの知見をビジネスに活用するというのを、両者の違いも意識しつつ、実際に体験することができました。ビジネスにおいては顧客の要望を踏まえ、課題設定や使用可能なデータ、分析期間等についての制約が存在する中での分析が要求されます。そのような状況下で、如何に経済学の知見を活用しつつ、質の高いものを最終的に提供するのかということを実際の業務を通じて学習することが出来ました。そして、業務で得た経験は今後の学業や研究活動にも資するものでした。時間の制約が存在する中での共同作業を行うことで、簡潔かつ伝わりやすい分析コードを書くことの重要性を改めて認識しました。また、複数のプロジェクトに参加する機会をいただけたことで、今まで知らなかった研究分野や研究方法に触れる機会を得ることも出来ました。

### 3 所属：東京大学経済学部4年生

大学院入試が口述試験になったので、筆記試験への追い込みがない分、夏季休業期間を自分の能力向上に役立てたのはありがたかったです。メンターや他のRAの方々も、ロジカルかつ簡易な説明を求めてくださるので、それに的確に応答するために自分の考えを明確にし、可読性を高めることを強く意識するようになりました。同時に技術的な面においても、AWSやpythonによる自然言語学習、Rによるデータ分析などの経験を実践的に積めたことは大きいです。誰かと共同作業しながら、あるいは誰かにプレゼンすることを目的にしているので、用いる手法自体も英語の文献を渉猟して根拠を持ち、実装も速度と正確性などを考えながら自分で提案していくのは非常に面白かったです。インターンシップとは言っても、ただ誰かと議論するのではなく、実際の業務に携わらせて頂き、様々な社員の皆さんや

他の RA の方々とも交流させて頂くことは貴重な経験だと思うので自分のキャリアへの考えを見出す上でも参加して良かったです。